

第2章 想定するリスク

1 瀬戸内町の地域特性

【地理・地形・地質】

本町は、鹿児島本土の南方約380km、奄美大島本島の南端、北緯28度～28度15分、東経129度8分～129度26分の地点に位置し、大島海峡を挟んで加計呂麻島、請島、与路島の有人3島を含む、総面積240km²に及ぶ広大な行政区域を有しています。

沿岸には、56の集落が点在し、海岸線は複雑に入り組むリアス式海岸を形成し、海面からそびえたつ山体で構成され、平地に乏しい地形となっています。

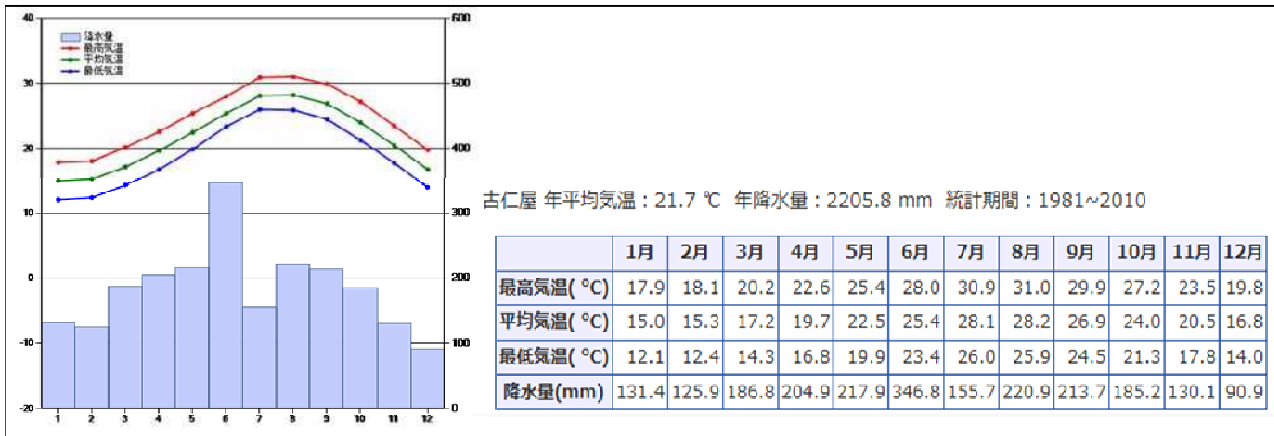
地質は、風化しやすく浸食に弱い、砂岩、粘板岩となっております。

【気象概況】

気候は、海岸を黒潮に洗われ、一般的に温暖多雨で海洋性亜熱帯に属しており夏から秋にかけて毎年のように豪雨や台風に見舞われております。

年間平均気温が21.7℃、年間降水量は2,205.8mmで、雨は梅雨時期から夏にかけて多く、この時期だけで年間降水量の約50%に達します。

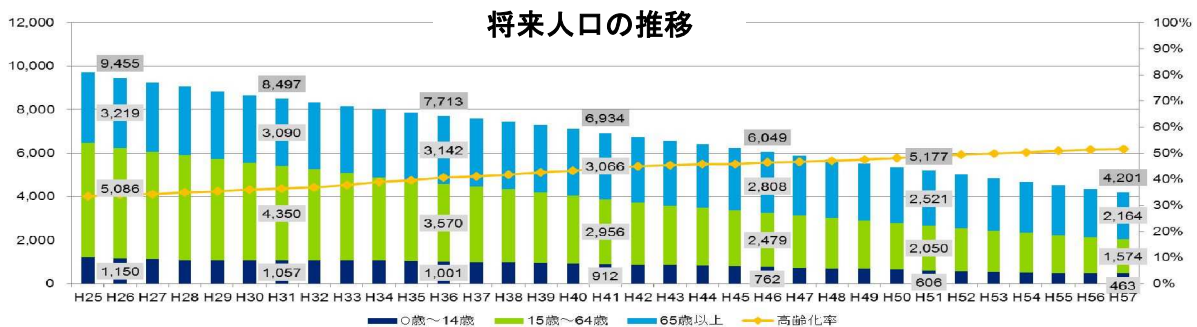
夏から秋にかけての雨は、台風や熱雷に伴う一時的な豪雨が多く、梅雨時期の豪雨とともに多くの災害を起こす原因となっています。



資料：気象庁統計データ

【人口】

本町の人口は、9,042人（平成27年国勢調査）となっており、人口はすでに減少に転じている状況であり、試算の結果、平成57年には、4,201人と30年間で55.6%減少することが予想されています。



資料：瀬戸内町公共施設等総合管理計画

2 対象とする自然災害

本計画においては、本町の特性や過去の災害の発生状況等を踏まえ、町民生活・地域社会に影響を及ぼすリスクとして、本町において最も発生頻度が高く、全国的にも甚大な被害をもたらしている「大雨による浸水・土砂災害」、近年、温暖化等により大型化・強化化する「台風による風水害及び高潮災害」、さらには、今後発生が懸念される「奄美群島太平洋沖地震（北部）による地震・津波災害」などの大規模自然災害を想定します。

【地震・津波】

南海トラフ地震については、発生 of 切迫性が指摘されており、平成25年12月施行の「南海トラフ地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法」に基づき、本町においては、南海トラフ地震が発生した場合に著しい地震災害が生ずるおそれがあるため、地震防災対策を推進する必要がある「南海トラフ地震防災対策推進地域」に指定されたところであります。

○奄美群島太平洋沖地震（北部）における被害想定結果

事 項	内 容
建物被害（棟）	全壊・消失 240 半壊 740
人的被害（人）	死者数 30（津波等） 負傷者 50
上水道被害（人）	断水人口（被災直後） 2700
電力被害（軒）	停電軒数（被災直後） 130
通信被害（回線）	固定電話不通回線数（被災直後） 160
ガス（プロパン除く）被害（戸）	供給停止戸数（被災直後） わずか
道路施設被害（箇所）	20
避難者数 [うち避難所]（人）	被災1日後 1200[420] 被災1週間後 1000[340] 被災1か月後 1200[820]
物資（食糧）需要量 （食）	被災1日後 2800 被災1週間後 2400 被災1か月後 1300
災害廃棄物発生量 （万トン）	20
孤立する可能性のある 集落数（集落）	1
被害額（億円）	390

注）南海トラフ地震、奄美群島太平洋沖地震（北部）と比較し、最大被災ケースを採用

資料：鹿児島県地震等災害被害予測調査（H26.2）



東日本大震災津波被害（国土交通省写真）

【風水害・土砂災害】

本町は、これまで台風接近上陸による風雨や高潮などにより、大きな影響を受けてきました。近年における既往の風水害のうち、最大規模であった平成2年9月17日から18日にかけての台風19号による古仁屋地区の土石流災害、平成22年10月18から20日にかけての大雨（奄美大島豪雨災害）及び平成23年11月2日の大雨（奄美大島南部豪雨災害）による影響で、多くの人命・財産等に被害が発生しました。

また、今後は、気候の温暖化により台風が大型化・強力化する傾向にあります。

○過去の被害の総括表

災害名 (年月日)		古仁屋地区土石流災害 (平成2年9月18日)	奄美大島豪雨災害 (平成22年10月20日)	奄美大島南部豪雨災害 (平成23年11月2日)
気象概況		<ul style="list-style-type: none"> 時間最大雨量 91mm(古仁屋)18日11時 日最大雨量 478.5mm(古仁屋)18日 総降水量の最大値 不明 	<ul style="list-style-type: none"> 時間最大雨量 89.5mm(古仁屋)20日13時 日最大雨量 286.5mm(古仁屋)20日 総降水量の最大値 380.5mm(古仁屋)18~21日 	<ul style="list-style-type: none"> 時間最大雨量 143.5mm(古仁屋)2日10時 日最大雨量 303mm(古仁屋)2日 総降水量の最大値 303mm(古仁屋)2日
人的被害	死者数	12人	-	-
	行方不明	-	-	-
	重傷	4人	-	-
	軽傷	2人	-	-
建物被害	全壊	28戸	-	-
	半壊	38戸	-	145
	一部破損	77戸	-	1
	床上浸水	139戸	14	103
	床下浸水	539戸	93	401

資料：広報せとうち(H2.9号)、気象庁災害時気象速報、瀬戸内町総務課消防防災係被害報告



H23奄美大島南部豪雨被害（総務課提供写真）